

あさな!

令和2年10月27日(火) No.24

文責：矢田部 瑞穂

11月1日浅内小学校145歳の誕生日

標記のとおり、11月1日は、能代市立浅内小学校の開校記念日です。「明治8年11月1日に、河戸川熊野神社境内に創立。『河戸川学校』と呼称」という記録が残っております。「能代市立浅内小学校」と改称したのは、昭和30年4月1日。「能代市のる」と記載されております。

今年度、本校は145歳の誕生日を迎えました。能代市で一番歴史学校となりました。特別な記念行ませんが、子どもたちにはその歴史の立つことを心に刻んでほしいの全校集会の校長の話は、「浅内にて子どもたちと語り合いたい」「愛校心」を育むために、本校出当時の学校のことをたくさん教えてをご存じですか。学校運営協議から学校にあったそうです。「この木か。」と話し、この木について説明は、「メタセコイア」というスギ科落メートルにもなる大木です。

子どもたちは、この木の下が大好きです。右上の写真は、左から**武田さん、鈴木さん、芹田さん**、2年生の3人官女が木の下で遊んでいる時に激写しました。保護者の皆様、地域の皆様、メタセコイアを見に、遊びにおいでください。みんなでお祝いしましょう。「能代市立浅内小学校145歳のお誕生日おめでとう！」



生日の長い事は長い史の上にて、来週の小学校」に思います。

身のみなさまには、ぜひ、子どもたちにあげてほしいと思います。この写真の木委員の**池田伸生さん**が子どもの頃かは、もう100年くらいになるのではないかとされている資料をくださいました。この木葉高木で、高さ50メートル、直径2.5

好きでいつもこの木の下で遊んでい

瞳かがやく浅小っ子 コーナー

4番：大塚 5番：保坂 6番：平川 7番：越後 8番：清水 9番：平川 10番：保坂 11番：木元 12番：松山 13番：保坂



郡市秋季ミニバス大会男子4強★浅内小学校★「浅内」という校名を背負って全力で戦った勇者たちに大きな拍手です。来週も最後の1秒まであきらめずにがんばってくれることを期待しています！

お願い

◆「浅内小学校応援隊」について◆

10月10日頃の学校報と共に、「浅内小学校応援隊」の組織について決定分を全戸配布したところ、その後、数名の方から「今からでも応援隊に希望してもいいですか？」との問い合わせがありました。本当に本当に有り難いことです。まだまだ受け付けます！いつでもご連絡くださるようお願い申し上げます。今年度中に組織づくりを完成させ、来年度はじめには、お願いしたいことや地域に協力できることを明確にしていきたいと考えております。

〔連絡先〕 能代市立浅内小学校
電話 0185-52-4715
FAX 0185-89-1322

10/20 児童集会「図書委員会」



高橋図書委員長（6年生）より多読賞の賞状を受け取る多賀谷さん（5年生）

今回の児童集会は、図書委員会が担当。「読書は〇〇の栄養」〇に入る言葉は何かを問うクイズからスタート。答えは、「こころ」ですが、なかなか正解が出ませんでした。図書委員会は全校のみんなが本に親しんでほしい。という願いから活動を行っています。今回も図書館の決まりなどを分かりやすく劇にして発表しました。最後には「多読賞」「貸し出し賞」の表彰を行いました。担当の唐津敬子先生は、「今回の集会は、子どもたちだけで考え、進んで練習しました。」と。児童会の活動は、子どもたちの自主性を育みます。育ってきていることをとても嬉しく思います。

10/20 さつまいもの収穫



真剣に土を掘り起こし、サツマイモを見つけて喜ぶ戸松さん（3年生）

10月20日（火）とても気持ちの良い秋晴れのもと、1年生～4年生までのさつまいもの収穫が行われました。土壌が豊かなので今年も、たくさんのさつまいもがとれました。各学年、おうちに持ち帰ったり、学校で調理したりしながら、実りの秋を堪能しました。「自然体験が豊富な子ほど正義感・道徳観が強い」「自然体験の多い子どもは自己肯定感が強い」とのこと。まさに、浅内小がめざす姿です。畑の中で笑顔はじける子どもたちが最高でした。



金野（6年）



10月10日に行われた「わか杉国体記念全県選抜学童軟式野球大会で、「優秀選手賞」を受賞した金野さん。能山オールスターズの一員として出場し、全県から集まった選ばれし勇者たちの中で、ホームランを打ったことが評価され今回の受賞に至った。

全校集会で表彰し、記念撮影をした時に、「メダルをかじって!」とお願いしてみたら、「これは小さなメダルなので・・・」と。それ以上は語らなかったが、その言葉には、「まだまだこれからもっとBIGになります!」という強い意志が感じられた。毎日会っているが、

毎日身長が伸びている感じがする金野さん。心身共に、これからの成長が楽しみな我ががスターだ!

右下の写真は、第48回都市児童生徒創意工夫展において入選した3名。夏休みの作品の中から、嶋田康弘先生が創意工夫展出品にふさわしい3点を選出。作品は次のとおり。

★伊藤「楽しいガチャ」・・・ピンポン球が詰まった時の解決方法もカードで示し、楽しく遊べるように工夫している。

★平川「鬼滅ガチャ」・・・カード一枚一枚がしっかり出てくるようにゴムとカードを緩みなく固定するなどの工夫がある。

★大塚「ガウス加速器」・・・磁石の秘密を解明する頭脳プレーが光る作品。今回「理科部会長賞」という最高峰を受賞した作品にかなり近かったとのこと。あと一ひねりして来年は最高峰を狙いたい。

※創意工夫は、発見や改良、こうしたら便利だろうなという視点が重要!

左から
伊藤（4年）
平川（5年）
大塚（5年）

